

大垣市9月議会 議会報告

その2

大垣市議会九月議会一般質問は、16・17日の2日間にわたって行われました。今号では笹田トヨ子議員の行った ③荒崎地区の水害対策について ④徳山ダム建設事業の新たな1,010億円の追加負担問題の2点について、質問と市側の回答要旨をお知らせします。

③荒崎地区の水害対策について

荒崎地区は大谷川に越流堤（洗堰）がある限り、遊水地機能を有する地域です。ただ、大谷川の場合、越流堤はあっても囲い堤はなく、荒崎水害の原因になってきました。全国各地には越流堤と囲い堤を兼ね備えた遊水地緑地があり、日常的には遊水地公園になっています。荒崎地区にも囲い堤を設置し、しっかりとした遊水地緑地を造ってはいかがでしょうか。

市側は、「第1期計画が平成19年度完成後、洗堰解消に向けて住民合意を得る第2期計画があるが、提案の囲い堤も治水対策案のひとつとして考え、今後の課題とする」との回答でした。

※議会提出資料 日本各地の遊水地

名称	水系	面積	時代
渡良瀬川遊水地	利根川水系	330ha	全完工1997年
庄内治水緑地	庄内川水系	50ha	江戸期
寝屋川治水緑地	淀川水系	50ha	1992年
際川遊水地	長良川水系	70ha	江戸期
大谷川遊水地	相川水系		江戸期

花園大学名誉教授 伊藤安男先生の講演
「洗堰と遊水地・輪中」資料より

④徳山ダム建設事業の新たな

1,010億円の追加負担中止を

水資源開発公団および国土交通省は、徳山ダム事業費が2,540億円から3,550億円に、1,010億円も膨らむことを明らかにし、関係自治体に提示しました。この徳山ダム事業費に関連して、

1. 水利用について

大垣市は本当に徳山ダムの水を利用するつもりがあるのですか。

2. 完成後の新たな工事について

徳山ダム完成後に、数百億円かかるとも言われる取水・導水管工事を行う予定があるのですか。

3. 水需要計画について

大垣市の水道企業会計では「これ以上の水需要は望めない」と記されています。大垣市の水需要計画について、明らかにしてください。

4. 追加負担の同意について

今回1,010億円の増額案が出されましたが、「事業実施計画を変更する時は利水者の費用負担の同意が必要」とされています。利水者とされている大垣市は豊かな地下水で賄われており、徳山ダムの水に切り替える予定はありません。この段階で、1,010億円の負担に同意をするのはいかなるものなのでしょうか。

回答では、「将来の渇水や地下水汚染に備えるため」「地震などの災害時に対処するため」と、徳山ダムの水利権の必要性を強調したものの、徳山ダムの水需要はなく費用負担の見通しもないことが明らかになりました。

しかし、市側は、費用負担の縮減は求めるも、早期に徳山ダムを完成させることを要望するとの答弁でした。

それに対して笹田議員は、徳山ダム建設事業が決まって18年の間に、ダム頼りの治水事業から山林・水田・遊水地確保など総合的な治水対策に方向転換しており、また、利水も水余り状態でダム建設費用の捻出は見通しが立たず、自然保護の問題も出てきていると述べ、今回の1,010億円の追加負担を契機に、様々な角度から検討して結論を出してもよいのではと主張しました。



スポットOgaki、日本共産党に対するご意見・ご質問等はこちらへ

TEL 81-1383 <http://www.sasada-toyoko.jp/> e-mail: sanbal@sasada-toyoko.jp